

4) Human immunodeficiency virus (HIV) 感染症

新潟大学医学部第二内科学教室 (主任: 荒川正昭教授)

五十嵐 謙 一

Human Immunodeficiency Virus (HIV) Infection

Kenichi IGARASHI

*Department of Medicine II,
Niigata University School of Medicine
(Director: Prof. Masaaki ARAKAWA)*

The cumulative total of HIV infections rose to an estimated 18 million by late 1994, and is projected to reach 30 to 40 million by the year 2000. HIV is transmitted through three primary routes: sexual contact with an infected person, significant exposures to infected blood or blood products, and perinatally from an infected mother to her child. Now, like in countries in North America and Europe, most new infections are heterosexually transmitted even in Japan. Furthermore, a number of studies have suggested that HIV transmission may be facilitated by other STDs associated with genital ulcers such as herpes and syphilis, and also with nonulcerative STDs such as gonorrhea and Chlamydia infections. Recently, some reports suggest that improved STD treatment reduced HIV incidence and HIV/AIDS education could decline the prevalence of STDs. Because there is no entirely satisfying treatment for HIV infection, preventing HIV infection is the most important step and the main preventive strategy is health education.

Key words: HIV, STD, health education

ヒト免疫不全ウイルス, 性行為感染症, 教育

1. はじめに

後天性免疫不全症候群 (AIDS) は, 1981年に始めて報告され, 1983年にその原因ウイルス human immunodeficiency virus (HIV) が発見された。HIV は, 血液, リンパ液, 髄液だけでなく, 子宮頸部分泌液, 精液から検出される頻度が高い。そのため, HIV の感染経路として, 注射針の共用や血液製剤など血液を介する感染だけでなく, 性行為による感染, 母子感染の3経路が重要

である。

WHO による HIV の感染効率と感染状況の調査では, 感染効率は輸血など血液を介するものは90%以上, 母子感染で30%, 性行為で0.1~1%となっている。しかし, 現在, 世界全体での HIV 感染の中での割合は, 血液を介するものは3~5%, 母子感染が5~10%に対し, 性行為によるものは70~80%を占め, 特に, 異性間の感染が60~70%と圧倒的多数を占めており, 現在では, HIV 感染症は STD の1つと考えられる。

Reprint requests to: Kenichi IGARASHI,
Department of Medicine II,
Niigata University School of Medicine,
Niigata City, 951, JAPAN.

別刷請求先: 〒951 新潟市旭町通1番町
新潟大学医学部第二内科学教室

五十嵐謙一

2. 日本における HIV 患者の現状

日本においても、HIV 感染者は着実に増加し、平成7年12月末現在で、3,524人の感染者が厚生省エイズサーベイランス委員会に報告されており、そのうち性的接触によるものは、異性間が866人(24.6%)、同性間が350人(9.9%)、合計で1,216人(34.5%)にのぼっている。年度別報告数でも、平成7年1年間の、血液製剤による感染例を除いた患者・感染者の報告数446人のうち、性的接触によるものは、異性間が227人、同性間が108人、合計335人(75.1%)と年々増加してきている。日本においては、加熱血液製剤が使用されるようになってから、血液製剤を介した HIV 感染患者の報告はみられないことから、現在は性行為による感染が、最も重要な感染経路である。

3. 当科における HIV 患者の現状

現在まで、当科で詳細が明らかにできたと考えられる HIV 感染症例は4例で、年齢は30歳から62歳、男性3例、女性1例で、4例とも日本人であった。他の STD として、1例に梅毒の既往が認められた。2例は保健所で検査を受け HIV 陽性と診断されており、他の2例は直接病院を受診し診断されていた。HIV 陽性と診断された時期は、1991年後半から1994年始めにかけてであった(表1)。

HIV 抗体検査を受けた動機では、HIV 感染を心配して受診した例がほとんどだが、耳鼻科受診時に偶然診断された症例もみられた。推定される感染経路は、4例とも日本国内で、みな異性間の性行為であった。男性はすべて外国人女性からの感染と考えられたが、女性の感染者は、夫が血友病で既にエイズと診断されており、夫からの感染と考えられた(表2)。

4. 考 案

HIV の主な感染経路は性行為であり、HIV 感染症は、STD の1つである。さらに、HIV 感染と他の STD との相互関係をみると、ハイリスクな性行動が STD と HIV 感染の両方を流行させるだけでなく、HIV 以外の STD が HIV 感染の促進因子と考えられる。実際、性器潰瘍やクラミジア、淋病、梅毒など他の STD が存在すると HIV 感染の危険度は2~4倍以上も高くなることが報告されている¹⁾。STD は、HIV の侵入口となる性器の上皮の破壊、性器粘膜の微少潰瘍を形成するだけでなく、HIV 感受性細胞や HIV 感染細胞の性器局

表1 当科に関係した HIV 感染患者

症例	年齢	性別	国籍	他の STD	診断された	
					施設	時期
M.N.	46	男	日本	(-)	保健所	1991.10.15
K.N.	58	男	日本	不明	保健所	1993. 8. 9
O.N.	62	男	日本	梅毒	病院	1994. 1.10
S.Y.	30	女	日本	(-)	病院	1991.11.

表2 当科に関係した HIV 感染患者

症例	検査動機	感染経路		
		場所	性行為	相手
M.N.	HIV への不安	国内	異性間	外国人女性(?)
K.N.	HIV への不安	国内	異性間	外国人女性(?)
O.N.	耳鼻科受診時	国内	異性間	外国人女性(?)
S.Y.	HIV への不安	国内	異性間	夫(Hemophilia A)

所への集積をもたらすことから、HIV の感染率を高めると考えられる²⁾。最近、STD 予防に関する教育や治療などにより、HIV の感染率が有意に低下したというデータが報告された³⁾。HIV 感染における STD の重要性を示す結果の1つとして、興味深い。

AIDS に対して有効な治療法のない現在、HIV 感染に対しては予防が最も有効な対策であり、そのためには教育が重要である。アメリカは、エイズを男性同性愛者と麻薬常習者の特異な病気という偏見にとらわれたため、対応が遅れ、現在の大流行を招いたのに対し、イギリスは、国民の啓蒙や教育を徹底し、エイズに対する偏見を取り払い大流行を防いだといわれている。今後、日本でエイズが大流行しないよう、現在しっかりと対応することが重要と考えられる。

参 考 文 献

- 1) Laga, M.: Epidemiological methods to investigate the role of sexually transmitted diseases as risk factors in HIV transmission, edited by Nicolosi, A. HIV EPIDEMIOLOGY. Raven Press, Ltd. New York. 99~105, 1994.
- 2) Ho, J.L., He, S., Hu, A., Geng, J., Basile, F.G., Almeida, M.G.B., Saito, A.Y., Laurence, J. and Johnson, Jr.W.D.: Neutrophils from human immunodeficiency virus (HIV)-seronegative donors induce HIV replication from HIV-infected

patients' mononuclear cells and cell lines: An in vitro model of HIV transmission facilitated by Chlamydia trachomatis. J. Exp. Med. 181: 1493~1505, 1995.

- 3) Grosskurth, H., Mosha, F., Todd, J., Mwijarubi, E., Klokke, A., Senkoro, K., Mayaud, P., Changalucha, J., Nicoll, A., ka-Gina, G., Newell, J., Mugeye, K., Mabey, D. and Hayes, R.: Impact of improved treatment of sexually transmitted diseases on HIV infection in rural Tanzania: randomised controlled trial. Lancet. 346: 530~536, 1995.

司会 ありがとうございます。質問ございませんか。

伊藤 只今、示された4例は、全て大学の症例ですか。

五十嵐 全てが大学の症例というわけではありません。

伊藤 新潟県としては、発生件数はどれ位ですか。

五十嵐 スライドで示しましたように、8月末までに21例が報告されています。半分強が外国人女性であります。したがって、日本人は、10例となりますか。

伊藤 他県や、東京と比べれば、新潟県は、非常に少ないといってよいのでしょうか。

五十嵐 東京と比べれば、まだ少ないと思います。

司会 東京都内の大学付属病院の内科では、いつも1名程度の顕性患者が入院していると聞いています。

血友病の患者さんについては、県に報告する義務がありませんので、事情は全く分かりません。

- 5) B型・C型肝炎ウイルス感染症の変貌と非 ABCDE 型肝炎ウイルス、GB ウイルスの発見

新潟大学医学部第三内科学教室 (主任: 朝倉 均教授)

小 方 則 夫

Recent Features of Hepatitis B Virus and Hepatitis C Virus Infections and Discovery of One Non-ABCDE Hepatitis Virus, Hepatitis GB Virus

Norio OGATA

*Third Department of Internal Medicine,
Niigata University School of Medicine
(Director: Prof. Hitoshi ASAKURA)*

After eradication of posttransfusion hepatitis B and C, we are confronted with sporadic occurrence of viral hepatitis. Epidemiological studies indicate that hepatitis B is likely to be a sexually transmitted disease (STD), but hepatitis C is not. Incidence of the establishment of the infection largely depends on the virus amount of the index cases. Therefore, examination of virus amount of carriers is likely to be the most important predictor of the infection. At present a goal of control of hepatitis B and C is to prevent the

Reprint requests to: Norio OGATA, M.D.,
Third Department of Internal Medicine,
Niigata University School of Medicine,
Asahimachi-dori 1, Niigata City,
951, JAPAN.

別刷請求先: 〒951 新潟市旭町通1番町
新潟大学医学部第三内科学教室

小方 則夫